

K-3：11月8日（土）（15：20～16：20）

<p><b>タイトル</b></p>	<p>プロジェクションマッピングは世界をどう変えたか！？ ～ クリエイターが見据えた未来展望 ～</p>
<p><b>講演者</b></p>	<p>土井 昌徳(どい まさのり)氏</p>
<p><b>講師紹介</b></p> 	<p>株式会社 SUPEREYE 代表取締役社長／クリエイティブディレクター フリーの映像ディレクターとしてミュージックビデオや商業映像を制作、またライブハウスやクラブなどでVJとしても映像演出に携わる。その後CGプロダクション勤務を経て、2012年に株式会社SUPEREYEを設立。プロジェクションマッピングをはじめ、エンターテインメント空間における映像表現を多数手がけている。 代表作として、SUPEREYE 主催の新体感イベント「PROJECTION MAPPING JOURNEY!!!」、アトレ吉祥寺「はなびの広場 プロジェクションマッピング」、「笑っていいとも！」プロジェクションマッピングを演出。また柴咲コウ、LUNA SEA 等 アーティスト LIVE での映像演出や企業のイベント等、商業施設空間での映像演出を数多くこなす。</p>
<p><b>概要</b></p>	<p>東京駅、大阪城、そして東京ディズニーランド、とさまざまな名所を これまでに体感したことのない景色に染め上げ大きな話題を呼んでいる プロジェクションマッピング(以降 PM)。見慣れたはずの建物が見たことのない景色に変わる、まるで建物が動いているように見える、といった新しい体験を味わえるこのPMに多くの人が魅了され エンタメシーンをはじめ 広告、観光、交通等、さまざまなシーンで新しい可能性を生んでいます。</p> <p>さらに PM の登場によって、今まで SF 映画や小説の世界だけだった「空を飛ぶ」や「ワープする」などの夢のような現象が、最新テクノロジー技術によって実現できるのではない か!?という大きな期待と注目が集まっているように思います。2020 年に控える東京オリンピック、その場所でも未だかつて想像しなかった技術の進化が広がっていると予想できます。</p> <p>まだ技術的にも演出的にも進化の可能性を秘めたこの PM。テクノロジー技術とクリエイティブの 融合、“for your landscape“を コンセプト に 新しい価値観の創造を目指す SUPEREYE で実際に披露してきた PM がどのように企画され、制作、運営、そしてマネジメントされているのか!? また実施する場所によってさまざまな手法が求められるテクニカルな部分や、昨今の PM 需 要やトレンドについて実例をベースでご紹介いたします。さらに、PM をはじめとした未来の映像テクノロジー・シーンの可能性にも迫ります。</p> <p>今回の講演を通じて、華々しく注目を浴びるエンタテイメントの舞台裏で行われている緻密なプロジェクト・マネジメントの一端を感じとっていただければと思います。</p>